



私がこの課題の
代表者です

支援メニューはこちらを Click !

課題番号・課題内容

B3-1 空間オミクス解析の支援

九州大学 生体防御医学研究所 所長 同 トランスクリプトミクス分野 教授

おおかわ やすゆき

大川 恭行 先生

Yasuyuki Ohkawa

2003年に阪大(医)にて博士号取得。2006年に九大医学
研究院でデニユアトラック准教授として独立、2016年より
現職。

趣味はヘビィメタル、特にギターソロを聞くのが好きです。

現在の取り組みと BINDS で支援してみたいこと

31歳で独立して、18年経過しています。これまで様々な先生方のご支援をおかげで研究活動を進めて参りました。今回 BINDS PHASE2の一員となり研究者の皆様を支援させていただくことは恩返しにつながる契機を頂いたと考えています。特に、これまで次世代シークエンサーを用いた様々な解析を行ってきました。RNAseqから ChIPseqをはじめとするエピゲノム解析を主に行っていますが、ここ5年くらいは従来技術では対応できない微量検体や高感度検出を行うために独自技術の開発を行ってきました。中でも空間オミクスに焦点をあてており、従来の汎用的方法では解決できない分子レベルの網羅検出やRNA, DNA, タンパク質など異なるモダリティの分子を同時に検出することに力を入れています。医学生物学分野においてなんにでも使える汎用的な技術は裏を返せばどの解析においてもソコソコのレベルに留まることが多いとも言えます。そのため、多くの場合研究者が目的に応じた最適化を求められます。この BINDSにおいては特に様々な研究者のみなさまのニーズに即した最適化に挑戦し、本邦におけるオミクスを活用した研究を支援していきたいと考えております。



先生のご研究室HPは
こちらからご確認
いただけます